

令和元年度 学校関係者評価

< 建学の精神 >
『誠実・勤勉・努力を基本理念とする』
< 学校の教育目標 >
社会から必要とされ、信頼される人間を育てる。そのために次の3つを実践する。
< 今年度の重要課題 >
「社会人力（社会人として通用する人間力）を育てる」 →（学生が）チームで働く力をさらに強化する ・新しい授業 「言葉力」 開始 ・ココロの授業特別講座 年3回開催 ・授業研修（昨年度に引き続き、授業力アップのため）

評価項目	ご意見	改善事項
1 教育理念・目的 人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を通じて人間性を高めるという方針を入学前に知ってはいても、実施に入学してからその勉強量などに驚くのではないかと感じました。 ・他の学校や大学でなくウエジョビを選ぶのは、資格取得率等でなく学校の理念を気に入ってなのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当校を選ぶ際、実績(資格取得率・就職率等)にまず注目し、その後で教育目標としている人間力の向上に共感して入学を決める方が多い。オープンキャンパスや出願説明会、ガイダンスや副校長の講演会などを通して、さらに学校理念の浸透を図っていく。
2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、十分に足りていると感じます。 ・学生の指導・フォローに対する職員の方々の負担が大きいのではないかと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の増員、IT化できる業務のシステム化を通じて職員の負担軽減を進めたい。
3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップや実習を行うには移動費用やリスクも伴うが、学校としてはそれでもさらに増やしていきたいのでしょうか。 ・外部の方の話しを聴く機会はとても大切だと思います。 ・社会に出ると多様な人がいるので、心の教育はとても大切だと思います。 ・地元の商店街と協力して、様々な取り組みを行って欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で習ったり、やっていることが、実際の現場でどう役立っているのかを学生に体験させたい。また、早期離職やミスマッチ防止のため、インターンシップなどを少しずつ増やしていきたい。 ・外部の方の話しを聴く機会を今後も設けていく。
4 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書の時間」はとてもいいと思います。読書を通じて、様々な考え方を知るのは大切だと思います。 ・離職の原因が個人に帰するわけではなく、企業に余裕がなくなり、じっくり時間をかけて人を育てることが少なくなっていることも要因だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人格形成・自己表現等に係わる取り組み（3つの約束/話し方/美文字/朝の読書/講演会/傾聴力/プレゼン/卒業研究/就職対策授業など）が、就職やキャリア形成において大切であることをこれからも継続して伝えていく。
5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や在校生のアンケートを見ると、先生方に対する評価が高いのがわかります。 ・学校にサークルなどはありますか。 ・リスク管理（学生のアルコール摂取・金融契約）についてはどうなっていますか。 ・「君と一緒に働けて良かった」と言われる人を輩出するという理念は良いです。 ・コースの違う学生が集まって話す機会などを設ければ、社会性を高める機会になるのではないのでしょうか。仲間作り、チーム作りができるようなきっかけ・環境を学校が提供できればいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップのため、「伝える」をテーマに始まった授業研修が6年経った。来年度も継続して行っていく。 ・サークルなど課外活動などは、コースごとにカリキュラムが大きく異なること等から設置が難しい。 ・未成年の学生が多いこともあり、今までアルコール摂取の問題はおきていなかった。また、クレジットカード契約等、金融に係わる問題も幸いなかったが、これまでの注意喚起を促すチラシ等の配布に加えて、年に1-2回授業の中でそれらを取上げ、学生の意識向上を図りたい。

評価項目	ご意見	改善事項
6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な行事を取り入れ、メリハリをつけたカリキュラムを組んでいるのが良いです。 ・パンフレットなどで見る、学生さんのはじけた笑顔が印象的です。 ・台風被害などもありましたが、防災を身近に感じる必要があると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風で実際に被害に遭った学生もあり、防災教育とともに、日頃からの防災意識の向上が必要である。 ・コースごとにその特徴を活かしたアイデア・提案を学生にしてもらう等の工夫を通して、防災意識を高める。
7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・「就職はゴールじゃない」のアピール度はとても高いと思います。 ・少子化と言われているが、学生数（入学者）はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概して求人倍率が高く就職が好調なときは、学生数が減る傾向にある。当校では公務員科の入学者が多いが、高卒者等の就職率が高いと公務員人気は下がることもその一因である。 ・学校理念に共感し、自分を変えたいと入学を決める学生が増えているので、それをさらに増やしていきたい。
8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕などは定期的に行っているのでしょうか。 ・駐車場収入があることは、学校経営にとって良いことです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な修繕はできておらず、修繕積立金をしていくことが必要である。
9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の学生さんがいるので、個人情報の管理をしっかりする必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規定・個人情報取扱細則を定めて個人情報取扱いには注意を払っているが、職員に再度注意を促したい。
10 社会貢献 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時など、学校でボランティアの情報を提供するなどすれば、参加しやすいのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報や機会の提供は、さらに取り組んでいきたい。 ・ボランティアに参加した学生がその意見を伝える機会を設けるなどして、学生の意識を高めたい。

第1回学校関係者評価委員会 実施日時：令和2年5月20日（水）14：00～17：00

学校関係者評価委員(50音順)

河合 良則 エムケイ商事株式会社 カワイ薬局 代表取締役
佐藤 正 丸堀自治会 副自治会長 (元長野県労働金庫 業務役)
田子 拓也 住友林業株式会社 住宅・建築事業本部 信州支店 営業グループ 上田店 店長

学校職員（オブザーバー）

比田井 美恵 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 校長
比田井 和孝 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 副校長
山極 学 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 教頭
高見澤 なが子 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 事務主任